

受付番号： 2018-1-243

課題名：「硝子体手術有用性の評価」硝子体手術患者における術前・術中・術後データの解析

1. 研究の対象

2005年から2018年5月までに網膜硝子体疾患を有し当院を受診した方

2. 研究期間

2010年5月（倫理委員会承認後）から2023年1月

3. 研究目的

現在の網膜硝子体手術は1970年代から開発され、これまで様々な改良と進化を経ている。2000年初頭からは、さらに小切開化、無縫合化の技術が開発され、世界的に普及している。25ゲージ手術と23ゲージ手術がその代表だが、その一方で、小切開硝子体手術中における術後の合併症が報告されつつある。特に、術後の低眼圧が有名であるが手術機器の改良により減少傾向である。また手術時に灌流カニューラが挿入できない事例も報告されつつある。東北大学においても小切開硝子体手術を導入しており、これまで1500例を超える症例数の蓄積がある。今回、これら術前・術中・術後データを解析し、視機能予後、合併症の原因を探ることを目的とする。他の種類の手術を行った患者、手術を行わない患者を含め網膜硝子体疾患を有する患者に関して、比較・統計解析を行い、手術適応構築・手術技術発展・病態解明に寄与する。

4. 研究方法

カルテと手術記録を後ろ向きに調査し、得られたデータをもとに総合的解析を行う。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病名、手術種類、視力、眼圧、眼科画像検査 等

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先

住所：仙台市青葉区星陵町 1-1

電話：022-717-7294

担当者：東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座眼科学分野 國方彦志

研究責任者：

東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座眼科学分野 國方彦志

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開

室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合